

EARTHECO
MAIL MAGAZINE

アース・エコ メールマガジン

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、不定期にメールマガジンをお届けしています。

世界各地で紛争が絶えません。気候変動のような地球規模の課題を解決するためには国際協力が不可欠であることは言うまでもありません。自国第一主義を唱えて自国の短期的な利益を優先したとしても、長期的には地球規模の課題で破綻が生じれば、自国の利益にも反することになるのは明らかです。世界各地の紛争が直ちに終結し、各国が相互に協力して一刻も早く地球規模の課題に取り組むようになることを願います。



かながわ環境教室④、葉山町内の小学校

1月18日(木)、葉山町内の小学校で6年生82名を対象に「かながわ環境教室～実験・ゲームで挑戦！地球温暖化防止～」を開催しました。参加した講師・スタッフは8名です。

ここ数年、地球温暖化の現象が強く感じられますが、去年はそれまでに増して地球の異常な暑さが記録されました。国連も昨年12月に「地球温暖化は終わり、地球沸騰化の時代が訪れた。」と警鐘を鳴らし、「世界の大人たちは目先の利益のために子どもたちの未来を犠牲にしているようなものだ。」と指摘しました。これに異論を唱える一言もありません。



今回の授業で、今までに増して特に意識したことは次の2点です。

- 地球沸騰化の意識を深めるため、子どもたちは先ず意識して省エネに取り組み、毎日の行動として省エネを習慣化するように促す。
- 地球温暖化に対し、将来に生きる子どもたちの事を私たち大人が考え、積極的に行動を起こすように、子どもを介してそのきっかけを作る。

このため、授業の進め方に次の2点の変更を加えました。

- 一時中断していたレジメ(授業の項目を記載したメモ用紙)の配布を再開する。
授業中に気になったことや関心のあることを児童にメモしてもらい、家に帰ってから家族と話し合うときの材料にしてもらうことが目的です。実際に、多くの児童が授業中にメモを書いていました。
- 昨年12月、国連の事務総長が発表した地球沸騰化の声明を伝える。

これから生きる児童は被害者で、大人には地球温暖化を終わらせる責任があります。事務総長の声明を伝える目的は、これからの事を是非家族と話し合ってもらいたい、と思う気持ちを伝えるためです。

今回の授業でのエピソードを2つ。

「省エネチェックシート」の記入では、毎日の生活の中で省エネを意識した行動をしているかの質問に、「はい」「いいえ」で回答しますが、ほとんどの項目に「いいえ」の回答をした一人の児童に、「これからどうするの?」と問いかけると、「省エネ頑張る」と前向きな言葉が返ってきました。ガンバレ!

授業の最後に今日の授業の感想文を児童に書いてもらいますが、今回は先生のご提案で、手書きではなく、児童全員に配られているタブレット端末から入力するように急遽変更し、入力用のフォームは担当の先生がその場で作られました。児童全員のブラインドタッチによる入力は、鉛筆書きと比べてすごい速さで、これには講師からも驚きの声がありました。



6年生の理科の専任担当の先生は毎年変わるため、今年度も新たな先生との対応となりました。非常に嬉しいことに、担当の先生はもちろん、校長先生、教頭先生など皆さんが真剣に地球温暖化を危惧し、私たちの活動に全面的にご賛同いただいていると感じています。

今回の授業では、児童の多くが真剣な眼差しを向けて話に聞き入る姿勢が頭に焼き付いています。地球温暖化対策が早急に前進し、子どもたちが少しでも明るい未来を感じられるように!

[内田]



YES出前講座② 横浜市青葉区内の小学校

えー!こんなもので電池ができるのー?

1月23日(火)、横浜市青葉区内の小学校で科学クラブの4~6年生12名を対象に、「横浜市環境教育出前講座~身近もので電池を作ろう~」を開催しました。参加した講師・スタッフはアース・エコの3名など5名です。

当日は3名の欠席者があり、児童9名で開催しました。少人数での授業は、非常に効率よくスムーズに進みました。授業内容は、電池の豆知識や環境に優しい電池などを紹介し、実験を2種類用意しました。短い時間なので、備長炭電池の実験しかできないと思っていましたが、科学の好きな児童たちなので、実験の手順や理解力もあつたおかげで、銅板電池の実験まで終らせることができました。児童たちのアンケートでも、タイトルにも挙げたように「なんで、こんなもので電池ができるの」と、何人かが不思議がっていました。今回の授業少人数で大成功。

アース・エコ会員以外で参加いただいた2名の方、ご協力ありがとうございました。

[壁谷]



備長炭電池を直列接続してLEDを点灯する



なるほど！体験出前教室④ 逗子市内の小学校

1月25日(木)、逗子市内の小学校で科学クラブの5～6年生21名を対象に、神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)の「なるほど！体験出前教室～身近にある材料を使って電池を作ってみよう～」を実施しました。参加した講師・スタッフはアース・エコ会員7名にインターンシップの実習で参加した大学生1名を加え、8名でした。

この時期はインフルエンザなどで休みの児童もいて、更に6年生にとって中学受験シーズンに重なるため欠席が多く、実際に参加した児童は15名でした。このため予定していた6グループを急遽4グループに組み替えて工作・実験を行ったため、各グループにほぼ2名のスタッフがついて進めることができました。



4グループに分かれて工作・実験に取り組む

クラブ活動の出前授業で常に悩まされるのが時間です。今回も45分と短い時間の中で授業をまとめなければならぬため、挨拶・自己紹介もそこそこにして学習に入りました。三択クイズで電池や乾電池の歴史を学んだ後、グループに分かれて備長炭電池の工作を行いました。備長炭にキッチンペーパーを巻き、塩水で濡らし、更にもの上からアルミホイルを巻き付けると電池が完成です。電圧計で電圧を計ると0.8～1.2V位で、電子オルゴール、赤色LED、モーターなどをつなげて動作するか試しました。その後、グループ全員で4個の電池を直列につないで青色LEDが点灯するかを確かめましたが、点灯したグループも、点灯しなかったグループもありました。

最後にアンケート用紙に記入しました。

銅板とアルミホイルを用いた電池は時間が足りないため授業の中ではできませんでしたが、必要な材料とLEDや電子オルゴールなどは、参加できなかった児童の分も含め、全員に持ち帰ってもらい、自分の家で実験の続きができるようにしました。理科や工作が好きな児童がもっと増えることを願っています。 [桑原]



LEDが点灯するかチャレンジ



1月理事会・例会・合同勉強会を開催

1月24日(水)、オンライン(Zoom)主体+会議室(ユニコムプラザさがみはら)で1月理事会・例会と合同勉強会を開催しました。参加者はアース・エコ会員が9名(内会議室での参加者3名)、オブザーバー4名の計13名でした。

1月理事会からの報告

特に報告はありませんでした。

1月例会

- 実施計画が12月から1月に延期になった1件の出前授業が再度延期になり、しかも再度別の活動予定と重なったため、参加者の調整を行い、同日の実施を決めました。
- 上記を含み、今年度中に実施予定の3件の活動について参加者の調整等を行いました。
- 1月に完了した2件の出前授業の実施結果が報告されました。その他、10月～12月に実施した出前授業のアンケート集計、省エネカレンダー集計などの報告が3件ありました。

動画による省エネカレンダーの集計報告

出前授業では、児童は省エネチャレンジ目標を決め、授業翌日から4週間ほど省エネ実践に取り組み、その結果を省エネカレンダーに記録します。取り組み終了後に先生に省エネカレンダーを回収してもらい、アース・エコに送ってもらいます。アース・エコは省エネカレンダーを集計し、集計結果は先生を通して児童に報告しています。

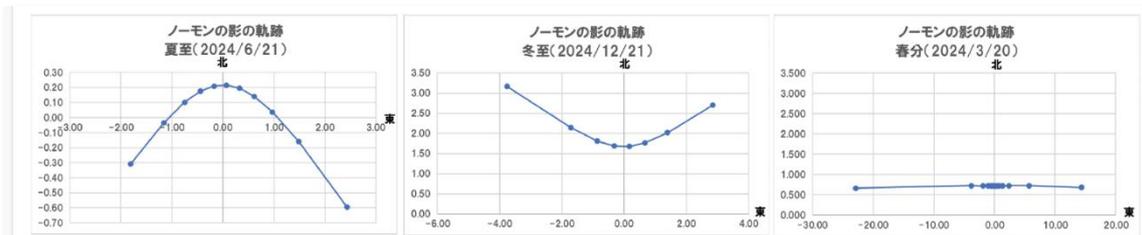
現在は、集計結果を印刷した紙資料を先生に送り、児童への報告は先生にお願いしていますが、報告内容をビデオにして送ったら、との提案が会員からありました。児童にビデオを見せた方が先生の負担も減り、より正確にこちらのメッセージが児童に伝わると思います。

過去の報告済みの集計結果をサンプルに、ビデオを作り、例会に出席の皆さんに見てもらい、意見を聞かせてもらいましたが、好評でした。今後可能なものは、作成したビデオをCDに焼いて、先生に送るようにしたいと思います。

合同勉強会

クイズ:ノーモン先端の影の軌跡は?

会員から正月休みにクイズが送られてきました。地面に垂直に1本の棒を立てて日時計をつくると、棒の影の先端が作る軌跡は季節によって形が変わります。軌跡の図を見てそれがどの季節のものなのかを推理するクイズでした。合同勉強会で正解発表と解説がありました。更に羽田空港滑走路の番号についての蘊蓄もありました。



合同勉強会に参加した皆さん(Zoom 画面から)

これからの活動予定

令和5年度に計画した活動はすべて完了しました。令和6年度の活動予定は決まり次第お知らせします。

2月理事会・例会・勉強会

2月28日(水)にオンライン主体+会議室(ユニコムプラザさがみはら)での開催を予定しています。開催の詳細、オンラインでの参加方法等は会員の皆様には後日メールでお知らせします。詳しくは事務局までお問い合わせください。

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学できます。

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡は

メール earth.eco.jimukyoku@gmail.com

ホームページ <https://npo-earth-eco.com/>

ホームページ



地球温暖化やボランティア活動に関心のある方 **私たちと一緒に活動しませんか?**